

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	朝日地区体育施設(8施設)	評価対象年度	令和元年度
指定管理者名	特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ 愛ランドあさひ	所管課	生涯学習課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)	評価者(課長)	板垣 敏幸

①事業実績

利用実績	別紙「平成31年度朝日地区体育施設使用実績」のとおり
サービス向上の取り組み	利用者の要望把握のため、各施設にアンケート回収箱を設置し、意見・要望などに対しより利用しやすい施設環境整備に努めた。

②管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (29年度)	前年度 (30年度)	当該年度 (元年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	35,193	35,640	36,793	107,626	基本協定額:187,988,814円
	利用料金	732	722	759	2,213	
	自主事業収入	1,227	1,287	1,041	3,555	
	その他	6	26	26	58	
	計	37,158	37,675	38,619	113,452	
支出	管理経費	35,641	36,819	38,299	110,759	
	(うち人件費)	16,113	16,380	16,419	48,912	
	(うち光熱水費)	4,873	5,129	4,977	14,979	
	(うち修繕費)	2,055	1,662	1,713	5,430	
	(うち委託料)	6,361	6,529	6,767	19,657	
	自主事業費	647	840	596	2,083	
	計	36,288	37,659	38,895	112,842	
差引	870	16	▲ 276	610		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) ・市民および利用者に対してスポーツの魅力を広く紹介し、市民に親しまれる公の施設として、スタッフ一体となって取り組んでいる様子が見られる。 ・特定の団体の利用が集中しないよう、適宜利用調整を実施し、一般開放の時間帯を確保するなど、利用の公平を図っている。今後も、多様化する利用者ニーズへの対応が必要と考えられる。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	5	4.0	
(評価理由) ・利用団体と一体となり施設一斉除草とグラウンド整備を2回実施するなど、指定管理者と利用者が一丸となり満足度向上のための取り組みを行なう体制構築が図られている。 ・利用者等の要望の把握については、H26年度に実施したアンケート結果が基礎となっているため、更にきめ細かい利用者ニーズの把握に努める取り組みをおこなってほしい。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) ・職員で対応可能な施設管理業務は、再委託をせず経費削減に努めている。会計処理は適切に行われている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	3	2.4
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守る事ができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
(評価理由) ・人員配置については各人の適正に応じて効率的に配置されており、各施設とも適切に管理されている。また、担当者の資格取得も積極的に行われており業務知識の向上に努めている。 ・個人情報保護については、文書管理は常態的に書庫での保管・管理を行い、管理者が事務室不在時に施錠の徹底と部外者入室規制を行っている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	5	4.0
	(評価理由) ・各施設について、職員による定期的な巡回による施設維持管理業務委託を行っており、施設に不備があった場合には、安全性の問題や緊急性等を考慮して速やかに対応している。				

④総合評価

評価点合計	84.8	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

施設管理や利用者への対応については適切に行われており、施設運営や自主事業では利用者ニーズを把握した施設整備に取り組み利用者数の確保に努めておりおおむね良好な結果と評価されている。今後も市民の要望やスポーツ振興に寄与する企画や自主事業の開催等を通じて、施設全体の利用者増加に向けた取り組みを進めるため、関係機関との連携強化を一層深めてもらいたい。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

施設の老朽化が進んでいるため、利用者が安心して利用できる施設整備に努め、今後更に利用者との対話や関係機関との対話を積極的に図り、地域活動の拠点施設として、身近で利用しやすい施設運営をさらに推進することを期待します。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。